

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1学年 全クラス
教科書	最新 数学A (数研出版)	副教材等	3ROUND 数学I+A

1 学習の到達目標

場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	1 集合 2 集合の要素の 個数 3 樹形図、和の 法則、積の法則	集合に関する基本的な用語・記号を 理解し、集合の要素の個数が求められ るようにします。 樹形図を用いて、場合の数の意味を 理解し、和の法則・積の法則を利用し て、能率的に場合の数を求められるよ うにします。	授業ノート、 授業プリントや 演習ノートを回 収して、授業へ の取り組み具合 や定着度を確 認します。 定期的に小テ ストを行い、評 価資料としま す。
	5		中間考査		
第1学期	6		4 順列 5 円順列と 重複順列 6 組合せ	順列の意味と、その総数を求める方 法について理解します。円順列、重複 順列の意味と、その総数の求め方や公 式を理解します。 具体的な場面に組合せの考えを適用し て、場合の数を求める練習をします。	授業ノート、 授業プリントや 演習ノートを回 収して、授業へ の取り組み具合 や定着度を確 認します。 定期的に小テ ストを行い、評 価資料としま す。
	7		期末考査		
第2学期	9	第2節 確率	7 確率の意味 8 確率の計算 9 確率の基本性質 10 和事象の確率 11 余事象の確率	確率の定義を知り、確率が求められ るようにします。同様に確からしい場 合の確率の定義を理解します。順列や 組合せの数を用いた確率の求め方を理 解します。 事象が排反であるとき、加法定理が 成り立つことを理解し、どのような場 面に適用されるのかを学習します。余 事象の意味とその表し方を理解しこれ らを利用して確率の計算ができるよ うにします。	授業ノート、 授業プリントや 演習ノートを回 収して、授業へ の取り組み具合 や定着度を確 認します。 定期的に小テ ストを行い、評 価資料としま す。
10	中間考査				

第2学期	11	1 2 独立な試行の確率 1 3 反復試行の確率 1 4 条件付き確率	試行の独立の意味を理解し、試行が独立であるときの事象の確率が求められるようにします。数学的な見方や考え方のよさについて認識を深めます。 反復試行の確率や条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率が求められるようにします。	授業ノート、授業プリントや演習ノートを回収して、授業への取り組み具合や定着度を確認します。 定期的に小テストを行い、評価資料とします。
	12	1 5 期待値 期末考査		
第3学期	1	第3章 数学と人間の活動 第1節 約数と倍数	1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 整数の割り算	授業ノート、授業プリントや演習ノートを回収して、授業への取り組み具合や定着度を確認します。 定期的に小テストを行い、評価資料とします。
	2	第2節 1次不定方程式	1 最大公約数 2 ユークリッドの互除法 3 1次不定方程式	
	3	第3節 記数法	1 古代の記数法 2 現代の記数法	
		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	場合の数と確率・整数の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし数理的に考察する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性が見られる。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・ 確実な計算力を身につけることが前提となります。基礎的な計算練習を積み重ねましょう。
- ・ 授業をよく聞いて、なぜその公式が成り立つのかを理解することが必要です。
- ・ 理解した公式はきちんと使いこなせるように、様々なパターンの問題に繰り返し取り組みましょう。
- ・ 学習の基本は授業です。欠席することなく継続的に授業に取り組みましょう。
- ・ 授業中は私語を慎み、授業中のマナーを守り、集中して臨みましょう。
- ・ 学期や学年の評価は、定期考査だけでなく、授業態度や提出物等を平常点として加味し評価します。指示された提出物は、期限を守って必ず提出するようにしましょう。